Sec01-01-05-01\_ポータルサイト運用業務委託要件整理

# 概要

## ポータルサイト運用業務委託要件整理

## 改版履歴

### 2021年11月19日\_改訂

### 2021年11月15日\_初版

# 今年度契約での問題点

## 業者引継ぎのため、改訂作業が1か月ほど停止した

## 引き継いだWebサーバ機能・設定の把握が十分でないため、不具合時の対応に時間を要している

## 仕様書にない事項は、作業しない。⇒職員が作業している

# 留意点

## 東京都の調達基準、規則を遵守する

### コンプライアンス違反でないことを認識する

### 東京都としての調達基準に沿った業務項目を委託する

## やるべきことを明確に（曖昧性の排除）

### 曖昧な場合は、安全を見込み、見積もり額が大幅に大きくなる

### 暗黙知でなく形式知化した形で合意できるようにする

業者は、明示されていないことはやらない

### 仕様書は担当者のスキルレベルに依存しないように明確にする

### 論理的な思考で、条件と内容を明確に。曖昧な文章表現ではなく、箇条書きで、判断要素は断定的な記述にする

## 職員の業務と業者の作業分担を明確にする

# 検討に当たっての前提要件

## サイト運営の改善ポイント

### 情報の発信量の増加、迅速な発信により、サイトの有用性を高める

### アクセス数を増やす方策を講じ、有用性の認知度を高める

※コンテンツの更新がなければ、アクセスは減る。多少の更新では、現状維持。

## 委託業務範囲の見直しポイント

### サーバ監視及び脆弱性対応の強化

※迅速なセキュリティ対応

### 稼働履歴の集計作業の強化

※事業評価の資料作成に資する統計値

### EPUB版文書の新規作成、改版の追加

## 予算の執行要件

### 予算額上限までの執行が可能であること

昨年度の契約金額レベルでは、改善が難しい。

### 公募による最低価格落札方式の一般競争入札

理想は、総合評価落札方式であるが、委託業者が創意工夫できる余地が少ないので、スキルと作業工数が見積もれるレベルの仕様書を提示して、価格競争とすることが妥当か。

実施すべき事項を明確に提示し、実施内容が業者によってブレないようにして、要件を満たした上で価格が低廉な業者を落札。

## 仕様書の詳細度

### 明確にしなければ、安かろう、悪かろうになり、職員の負荷が多くなる

### 必要スキル、工数が算定できるレベルの仕様書の提示が必要

## 機能要件

### サーバ環境の準備

選択肢１

【×】デジタル局が用意する環境を利用。

選択肢２

【×】別調達で、サーバ環境を調達する

（借料になるので、来年度は断念）

 選択肢３

 【◎】運用委託契約に含める。ただし、業者とは独立した環境を用意。

（次年度、環境の移行作業は不要）

 選択肢４

【△】運用委託契約に含める。設置するサーバの所在は問わない。

（次年度、環境の移行作業が必要）

### 使用するCMSサーバーに関しての前提要件

コンテンツがMovableTypeの仕様に沿って作られているので、全面更改までは、MovableTypeの継続利用を前提とする

次年度以降、サーバ環境の移行工数を削減できるように、委託業者内の環境を使わないようにすべき。

 選択肢１

 【◎】MovableTypeが提供するクラウド環境

環境、MovableTypeの脆弱性、不具合に対する迅速な対応が期待できる。

サーバ機器を借料を含む

 ※【参考】MovableTypeクラウド版 S4100i: 1CPU(2.4GHz相当),4GB,100GB,2TB/月,Apache Plemium \61,600/月

 選択肢２

 【〇】MovableTypeが稼働している委託業者とは独立したサードベンダーが提供するクラウド環境

※来年度、契約延長で、次の業者に引継ぎ可能

選択肢３

 【△】委託業者が、任意のサーバにMovableTypeを稼働させる

※来年度、移行作業が必要

## 非機能要件

### システム方式

 Movabletypeより下層の環境の方式は問わない

### 性能要件

 同時10アクセスで、5秒以内の応答時間

### ストレージ容量

 50GB

### 信頼性要件

 障害発生時、24時間以内に復旧すること。（休日は除く）

 日々のバックアップ。障害発生時、前日のデータで復元。

### セキュリティ要件

 UTM等によるアクセス監視、改ざん検知、不正アクセスの遮断等

 Apache、Movabletype等のサーバプロセスログの取得

## 業務要件

### EPUB文書のページの追加・更新

選択肢１

 【〇】職員が、コンテンツ原稿を作成し、EPUBページ化 （XHTML）は、委託業者が行う

選択肢２

【△】職員が、コンテンツ原稿（WORD等）を作成し、EPUBページ化 （XHTML）も、職員が行う

### Webページの追加・更新

EPUBページから、MovableType仕様のWebページへ変換してアップロードする

MovableTypeのページは、シリアル番号で管理されており、また画像等のURLも異なるために、一定の修正作業が必要となる

選択肢１

 【〇】委託業者が、修正作業を行い、ステージングサーバにアップロードし、本番反映させる

従来ページ、ガイドブックページ

 新規:30文書

※5時間/文書程度の作業

 改訂:150文書

※2時間/文書程度の作業

ナレッジベースページ

 新規:20文書

※5時間/文書程度の作業

 改訂:50文書

※2時間/文書程度の作業

選択肢２

【△】職員が、修正作業を行い、ステージングサーバにアップロードし、本番反映させる

### EPUB文書の公開

 現在は、MovableType内にアップロードし公開している

選択肢１

【×】各種電子書籍サイトから公開する

※ガイドブックの改訂版（Ver.3.0）制作時に実施

選択肢２

 今後も、ポータルサイトからのみ公開する

※サイズが大きいので、CMSサーバのストレージ容量の考慮が必要。

### サーバ監視及び脆弱性対応

アクセスログの分析及び報告

更新機能に依らないページ更新（改ざん？）の即時検知及び報告

管理者権限の通常IPアドレス以外からのアクセスの即時検知及び報告

使用するソフトウェアのアップデートの迅速な適用

### 稼働履歴の集計レポートの作成

 セキュリティ侵害に対する予防措置のためのアクセス履歴の取得

Apache等のサーバプロセスのアクセスログの生データの取得、保存

ページの更新（改ざん）履歴の保存

管理者権限でのアクセス履歴の保存

ソフトウェアのアップデート履歴の保存

 事業評価、運用改善に資する統計情報の取得

Google Analyticsレポート

※通常版で得られる情報

※有償版の導入も別途検討

Google Search Console Insightsレポート

### 引継ぎ要件

 委託業務開始時

旧サーバの全ての環境設定情報、コンテンツ、スクリプト等を移行し、稼働を確認する

 サーバ証明書の取得（cybersecurity-tokyo.jpもしくはcybersecurity.tokyo.lg.jp）

移行後の新しいIPアドレスで、DNSを更新

 委託業務終了時

サーバの全ての環境設定情報、コンテンツ、スクリプト等をバックアップし、再構築のための移行手順書を作成する